

議 長 日程第5「一般質問」に入ります。

一般質問は通告順に行います。受付番号第1号、井上栄一君の一般質問を許します。登壇願います。

6 番 井 上 それでは、議長の許可を得ましたので一般質問をさせていただきます。受付番号第1号、質問議員、第6番 井上栄一。件名、新松田駅周辺整備事業の町民説明について。

要旨。1、6月27日に実施しました新松田自治会と議会との意見交換会において、参加者から、新松田駅周辺整備事業について地権者等検討会に対しては様々な説明を行っているが、地元や近隣に対して町は説明会等を実施していないという意見が出ました。町は地元自治会や近隣住民、また町民全体に対し、町政史上最大の事業である新松田駅周辺整備事業を説明し、理解を得なければなりません。いつこれらの説明会、「等」が抜けておりました。説明会等を実施されるのか伺います。よろしく願います。

町 長 それでは井上議員の御質問にお答えをさせていただきます。

駅周辺整備の事業については大きく分けて、再開発事業、駅前広場、南北自由通路の3つの事業になります。

まず再開発事業については、本年5月に設立されました新松田駅北口地区市街地再開発準備組合の設立後、現在4回にわたって理事会が開催されまして、事業計画の具体化に向けて慎重に審議を重ねていただいているというような状況でございます。町民の皆様に向けた事業説明等の機会については、今後の慎重なる協議の状況を踏まえて、再開発事業の特性から、公表可能な内容や時期について様々な権利をお持ちである準備組合の皆様方と協議を行った上、適時適切に行ってまいりたいというふうに考えております。

次に、駅前広場や自由通路の整備につきましては、町は公共施設を管理する立場といたしまして、再開発と並行して事業に取り組んでいるところでもございます。駅前広場については、都市計画決定に向け神奈川県との協議調整を、また県警本部との交通協議を行っており、自由通路についても事業手法、整備

手法や設置位置などについて、鉄道事業者と協議を進めているところでもございます。

詳細につきましては、既に御提示させていただいておりますスケジュール案のとおり、都市計画決定の手続を来年度に行う目標を掲げておりますので、町民の皆様方等の説明については再開発事業と併せて、進捗に応じた内容について、令和6年3月頃には町民の皆様方にお示しできるものと考えておるところでございます。以上です。

6 番 井 上 それではですね、再質問をさせていただきます。

まず最初にですね、今の回答の中でですね、再開発事業は準備組合と協議の後、町民への事業説明を行うという回答がございましたが、再開発事業等のスケジュールの中ではですね、この秋にディベロッパーを決定をしようとするタイミングだということで承知をしています。松田町ですね、まちづくり構想、都市計画構想ということですね、やはりここでディベロッパーが決まるというタイミングの中、このディベロッパーの決定というのは準備組合の作業だというふうな捉え方をされておりますが、やはりここはですね、町が主体となって新松田駅周辺整備事業の基本構想、基本計画を策定をされているということからですね、このまちづくり構想、都市計画構想をですね、まず町民に説明を行い、町民がどのような意見を持っているかということを知ることが必要かと私は思います。町長の見解をお願いいたします。

町 長 おっしゃるのはもうごもっともな話だというふうに私も思っています。この再開発事業について、今現在準備組合を立ち上げてまで進めているというふうなことであるのは、もうずっと御承知のことだと思いますけれども、そもそも何じゃあ準備組合をやらなきゃいけないかというのは、やはりこの地権者の方々の御理解を頂きながら、やはり地権者の方々が主導的に、主体的にやっていただくということを必要としたということもあって、再開発事業ということは今、進めているところというふうに認識をしています。それを町が、我々がですね、主体的にやるということなので、手法がまだ変わってくるということもありますけれども、我々はもう本当に地域の方々の御理解がなくして、この事業

が進められないというふうな認識の下に、これまで積み重ねてきたところがございますので、やはりディベロッパーを決めるということの決定権は、やはり再開発組合のほうにあって、我々の立場としてはその再開発の中での床を持つのか、何かを持つというふうな形になったときに、そのディベロッパーさんたちが入りやすいような状況をつくっていくのが町の役割だというふうに思っております。

ですので、今の現時点ではですね、準備組合さんというものが正式に立ち上がって、慎重に協議をされているところでもございますので、今の御質問の町民に対する話というのは重々承知をしておりますけども、きちっと話しながらやっていく立場ではなかろうかと。なので、その再開発組合の皆さん方から御了解頂いた内容とか、例えば今回こういった質問がありましたということで、町民の方々のことに必要だというふうな話があったので、いかがでしょうかというふうな流れの中で、再開発準備組合の方から御了解頂いた内容については、適宜、順次必要に応じてお話をしますし、こういった機会を通じていつも御質問頂いてますから、こういったことの中で町民の方々が興味を示して知っていただいていることもあろうかというふうに感じております。いずれにしても、町民の方々が知りたい情報だというのは承知しておりますので、必要なタイミングでそれは流していきたいというふうに考えてます。以上です。

6 番 井 上 はい、ありがとうございます。新松田自治会とのですね、意見交換会、6月27日に実施をされましたが、そのときですね、やはり住民の方の思いというのは、新松田駅周辺整備事業に期待をするということは、何を期待するのかというですね、やはり計画区域内にある方は、やはり自分のそれぞれの権利とかですね、今後の将来的なものというのがありますけれども、新松田の自治会は計画区域外もたくさんの方がお住まいなんですね。そうしますと、やはり期待するところは安全・安心なですね、駅周辺での生活をできること、また通行がですね、できることをですね、期待をしているかと思います。もちろん町のほうは十分な調査を行っているので、現在のですね、夕刻の、夕方ですね、駅送迎の自家用車とかバスによるですね、さらに雨天時はかなりひどい駅周辺

の渋滞状況というのは、当然ですね、御存じだというふうに町のほうも理解をされてると思いますが、やはりこれはその地域のですね、住民の方については、本当に大変な問題だということです。

新松田駅周辺整備事業のですね、基本計画等によれば、12メートルの幅員の道路ができるということですが、それはやはり計画区域までだというふうに私は理解しています。例えば計画区域よりですね、西側、富士急の操車場よりですね、西側、小学校までの町道は現状のままだというふうな事業内容ではないかというふうに思いますが、こういった内容をですね、知っていれば、住民の新松田自治会とかですね、あと宮前、その隣のですね、自治会等では、駅周辺の混雑状況は、じゃあ新松田駅周辺整備事業で改善をされるのかどうなるのかというのがですね、住民の考え方ではないかなというふうに思います。議会との意見交換会の中でもですね、そういう意見が出されています。やはりこれをですね、再開発事業が始まって、じゃあもうディベロッパーが決まってからですね、こうなりましたということではなく、やはりその事前にですね、町民に対して説明をし、町民の意見、希望等を取り入れるというのがですね、やはり町政の一つの役割ではないかと思いますが、担当者のほうからあれば担当者のお考え方、町長…全体に対してはですね、町長の答弁をお願いをいたします。

まちづくり課長 担当からというお話を頂きましたので、私のほうからお話を1点させていただきます。道路の関係のお話になろうかと思います。こちらは町道3号線、今現在駅前を通過して小学校のほうに向かう部分で行きますと、おっしゃっていただいたように再開発の予定している区域以外の西側のほうですね。こちらのほうが、じゃあ、再開発事業では当然ございませんが、この駅前の形、その道路の線型…線型は変わらないですね、その幅員のなもの、一応計画を予定しているものはありますが、これからこれが具体化する中でその接続をですね、どう考えていくかというのは非常に大きい問題だとは考えてございます。つきましては、先ほど町長から答弁を頂きましたけども、全体的な絵形が見えてきそうなそのタイミングというのは3月ということでの御答弁をさせていただいて

おりますが、これ以外にもですね、今現在の再開発事業の進捗ですとか仕組みですとか、プラスして近隣であります自治会さんにおかれましては、生活環境に密接する道路に関する御意見、こういったこともしっかりお伺いした中で進めていきたいとは考えております。まだじゃあその先を、じゃあ幅員何メートルにするか、いろいろな検討というのは当然担当としてはしておるんですけども、まだ御説明ができるタイミングというところではございませんし、特に地元の方々からの御意見もお伺いしながら進めていきたいと、担当としては考えております。

町 長 じゃあ大きくという話ですから。先ほど地域の方々の期待、また町民の方々の期待というお言葉があったので、細かい話はもう話はいいと思いますけど、全体の話をするとおっしゃるとおりなのは本当に重々承知してます。説明がなかなかできてなくて、我々もちょっともやもやしてるといいますかね、町民の方々にはね、今こんな状況ですというのを常に随時随時出していきたいかなんて思っているところですけど、出せてない状況についてはこういう御指摘を頂くということは、本当反省しなきゃいけないところだというふうに思ってます。

これまでですね、町全体に対しても、例えば皆さん集まっていたいてワークショップしましょうよという、ワークショップという形でいろんな意見を頂いたりとかというのを、それなりにプロセスは重ねてきているところですので、町民の方々の御意見をどこまで反映させられるかというのは、我々行政の部分もあったり、あとディベロッパーさんであったり、またその権利者の方々との、やっぱり三位一体となっていくところもありますので、ただ単純に…単純にという表現もおかしいですね。安全・安心はもうある意味当たり前の話ですよ。もうあの地域に住まれてる方々からすれば、もう本当に危ないような状況で、雨が降ったりだとかという話もありましたとおおり、もうごもったもな話だというふうに感じております。ただし、こういう表現するとあれかも分かりませんが、やっぱり南口みたいになっちゃいけないわけですよ。ただ何となくロータリーつくって、賑わいがなくなってしまう。それだけは私は避けなきゃい

けないと思って、今回のような手法でやっています。だから道路整備じゃないんですね。道路整備は一部ありますけども、やはり賑わいもやっぱりしっかりとやっていかなきゃいけないので、その賑わいの分については行政が得意種目なところじゃないと、私は思ってるところもありますから、ディベロッパーさんの民間の活力を使って、官民連携で賑わいをしっかりと創出していただき、地域の安心・安全は当然行政側としては、当然主張すべきところは主張して、そこで一緒にあの地域全体を守りつつ行かなきゃいけないというふうに考えているところでもございます。図書館が欲しいとか、スーパーが欲しいとか、幾つか要望は頂いてます。その辺はディベロッパーさんと調整するときにも、そういった町民の意見があるのでそれを酌み取っていただけるのか、いただけないかということと話しながら、多分最終的には決定していくこととなるというふうに考えていますので、ただし今、そういった格好でどういう状況なのによって心配になっちゃってるというふうなことを頂いてますから、そこは本当適宜確認しながら発信していきたいというふうに考えてます。以上です。

- 6 番 井 上 回答ありがとうございます。担当のほうはですね、最後のほうで地元からの意見を取り入れたいということでありましたが、こういう自治会とのですね、意見交換会の中で出てきたというのは、やはりその中に飛び込んでいくからですね、聞ける話なんです。役場で待っててね、意見をくださいじゃないと、私は思います。ですから、そういった意味の中で、やはりその地元に入り込んだ中でですね、説明会を行うということが必要なのかなというふうに私は思っています。町長のほうもですね、ワークショップをやったからそこでまちづくりに対しての意見が得たということではありますが、やはりそれは一般的なですね、手法としてのワークショップではありますが、やはりここですね、地元、新松田自治会とかですね、近隣の中町屋自治会とかですね、そういったところの中にやはり町が入り込んでいてね、町が、いや、今こういうふうな計画があります。例えば駅前広場についてはこういうふうに今現在県と協議しています。警察とも協議しています。自由通路は鉄道事業者との協議でこういった見込みとか、町の考え方はこうですということですね、やはりその中に入り込

んで説明をすることが、やはり町民の意見を取り入れるということにつながるというふうに思います。

そういったことに対してですね、先ほどから頂いておりますが、令和6年3月ということの期限もありますね、ぜひその前にある程度ディベロッパ一との交渉の中でですね、やはり町の考え方、地元の考え方、そういったものを取り入れた再開発事業なり、駅前広場整備事業なり、新松田駅の自由通路ですね、橋上駅舎・自由通路なりの考え方というのをですね、町民の意見を取り入れた政策を行っていただきたいというふうに考えますので、総体的な意見を最後に町長のほうからお願いをいたします。

町長 先ほどから申してるように、聞かないとか、こうとかというふうな話はした記憶、つもりは全くございません。あとはタイミングと報告する内容を適宜やっぱり決めてやっていかないと、何か中途半端な話が勝手にひとり歩きすることがあると思ってるんですね。それによって、せっかくここまで積み重ねてきたものが崩れていくというのが、ものすごく心配しているところでもございます。ですので、先ほどから申し上げてるように、このような議会ですね、毎回井上さんからこの質問をもらった部分に対しては、特に井上さんも地域の方々とか何とかに飛び込んで話をしてくれてると思いますけども、我々もその時期時期には地元の方々と話をしたりとかしてきたところもあります。コロナも明けましたし、そういった御意見を頂いたということを肝に銘じてですね、適切に対応してまいりたいというふうに感じます。以上です。

6 番 井 上 終わります。

議 長 以上で受付番号第1号、井上栄一君の一般質問を終わります。少々お待ちください。